安全就業だより

公益社団法人 小郡大刀洗広域シルバー人材センター
安全就業委員会発行　会員ニュース第２号
（平成２６年７月）

～　安全就業強化月間特集号　～

知っていますか？「全国安全週間」　“人命尊重”の基本理念の下、産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の昂揚と安全活動の定着を図ることを目的に、1928（昭和 3）年に制定されました。

1960(昭和 35)年からは、1 日目の 7 月 1 日が「国民安全の日」となったそうです。

さて、全国のシルバー人材センターでは、「全国安全週間」に合わせて7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、様々な取組みが行われます。今一度、安全についての日頃の自分を省みてください。

連続無事故日数（7/15現在）

傷害事故	21日
賠償責任事故	68日
交通事故(車両)	155日

事故報告

《 就業中賠償責任事故 》

① 発生日時　　不明　（作業日　平成 26 年 5 月 7 日）
② 場　　所　　小郡市上西鯵坂　発注者宅
③ 会　　員　　不明　（作業者　小郡本所植木剪定班 4 名）
④ 事故内容　　発注者宅の植木剪定作業の一週間後、発注者より「剪定作業時にブロック塀を壊されたと隣人から苦情を言われているので対応してほしい。」とクレームが入る。（ブロック塀自体は発注者の敷地内にあるが、４０年前の設置時に、隣人が費用を半分負担したもの。）破損の事実を会員に確認したところ、剪定時には既に壊れていたとのことだった。説明に行ったが隣人は納得をせず、その後も発注者を含め協議をしたが、「シルバーの作業後に壊れたのだから、シルバーが弁償すべき」と主張。事実を証明出来なかったため、当方でブロック２枚分のみ修繕することとなった。

最近、こうしたクレームが増えてきています。会員さんが、「違う」と言う以上、事務局はそれを信じて会員さんを守る立場です。しかし、なかなか発注者の理解を得られないことも多々あります。先日は、留守宅に見積りに行った際に、「プランターを壊されているので弁償してほしい」と一方的に決めつけた連絡がありました。また、「センターに作業依頼をしていたのに、遅くなったせいで植木が虫にやられてしまった、どうするのか？」という苦情もありました。これまでなかった思いもしないところで、賠償を要求されるケースです。作業後に「壊れていた、いなかった」と言っても水かけ論です。作業前や作業中も常に状況に注意をして、問題があるときはお客様に確認をしてもらい、作業後はひと通り点検をお願いした後に就業報告書にサインをいただいてください。

《 就業中傷害事故 》

① 発生日時　　６月２３日（月）１３時
② 場　　所　　小郡市大崎　発注者宅
③ 会　　員　　小郡本所　植木剪定　６８才　男性
④ 事故内容　　ヒイラギ（高さ２ｍ）を剪定するため、６尺の三脚を立てて三段目の位置で剪定中、開き止めのチェーンがはずれ、三脚が開いてそのまま三脚と一緒に下方に下がったのちに、３０㎝程度の高さから横方向に転落した。左手首、左肩、左の胸部を打撲した。

日常的に誰もが使用する脚立ですが、使用方法を誤ると大変危険です！

コンクリート面にブルーシートを敷いて、その上に三脚を立てたため、滑りやすくなっていたことも要因です。また、開き止めのチェーンがしっかりと掛けられていたかの確認をしていませんでした。チェーンはたわみなくしっかりと張ること。

転落は重大事故になる可能性が大きいため、念には念を入れて、三脚本体をロープで樹木等に固縛するように心がけてください。２ｍ以下の高さでもなるべく安全帯を使用して欲しいものです。

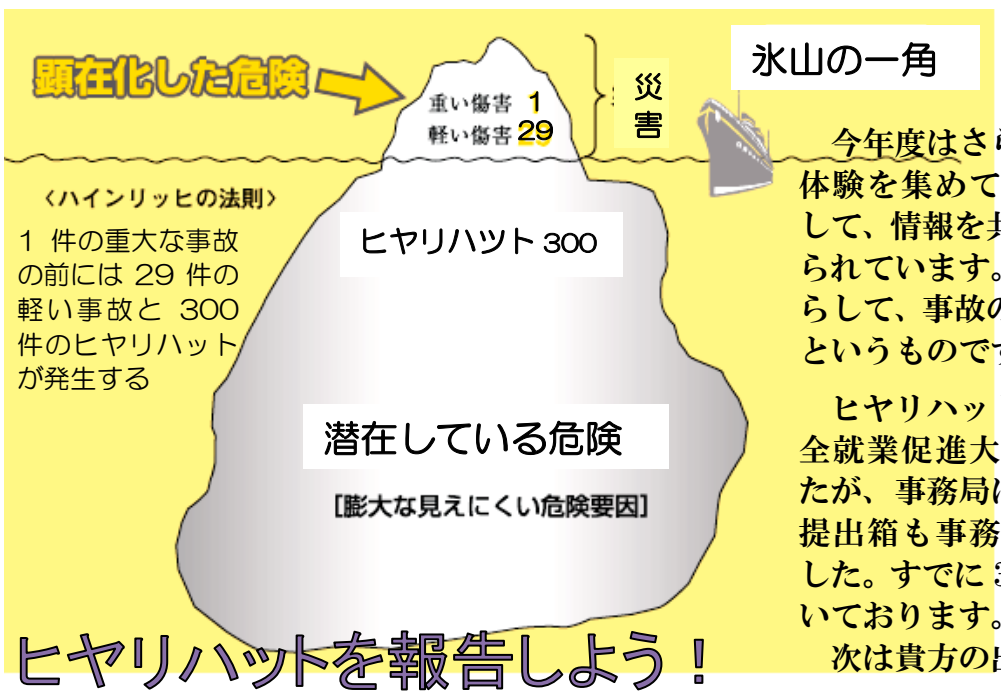
脚立は横方向に弱く倒れやすいので、おへそを脚立より外に出さない（重心を脚立の幅内に置いて、身を乗り出さない）ようにしましょう。

家庭内の清掃や電球の取り換えでも、ケガをする人は多いようです。簡単に使える道具だから、つい安易に使用してしまいがちですが、取扱いには注意と知識が必要です。

7月は安全・適正就業強化月間です

例年、強化月間には、「機械、器具、保護具の点検」「就業現場の総点検」「安全パトロールの強化」「安全講習会の実施」などに取り組むよう指導をされています。

皆さんにおかれては、作業に使用する道具の点検と手入れ、保護具の点検、安全就業基準の確認、就業現場の再点検、見積時の危険排除、移動時の交通安全などの再確認をしてください。



ヒヤリハットを報告しよう！

今年度はさらに、ヒヤリハット体験を集めて事故の要因を分析して、情報を共有するように決められています。ヒヤリハットを減らして、事故の芽を摘んで行こうというものです。

ヒヤリハットの記入用紙は、安全就業促進大会でも配布しましたが、事務局に準備しています。提出箱も事務所窓口に設置しました。すでに 3 件の報告をいただいております。

次は貴方の出番ですよ！

連合会安全就業促進大会

表彰状を受け取る井手安全就業委員長

7月３日（木）福岡市中央市民センターにて、福岡県シルバー人材センター連合会主催、平成26年度の安全就業促進大会が行われました。当センターからは、安全就業委員会の委員・職員11名が参加致しました。

当センターは、他の3センターとともに「安全優良センター」として表彰され、2年続けての受賞となりました。会員皆さんの努力の結果と受け止めております。安全は、日々の努力の積み重ねです。これからも油断なく！

安全標語優秀作品

応募総数90点より、右の4作品が選ばれました。

【 応募くださった会員の皆さん 】

天本　志郎	天本　介夫	荒巻　常幸	有川　穂積
石橋　眸	井手　良介	井上　康矩	上村　直之
江田　晴一	大隈　孝之	緒方　髙義	尾花　日出成
川原　豊富	國武　光雄	熊谷　健	栗秋　和治
古賀　正信	榊　純良	白石　恵	高田　益三
鶴田　英二	原田　瀧夫	稗田　陸男	藤原　忠行
渕上　信吉	峯崎　泰一	森山　景介	森山　嘉威
山田　忠義	和佐野　政徳		

（順不同　敬称省略）

紙面の都合上お名前のみ掲載させていただきます。
力作をありがとうございました！

《最優秀賞》
今一度　あせらずいそがず　安全確認
古賀 正信 会員（御 原）

《優秀賞》
これくらい　と思う心に　事故が待つ
峯崎 泰一 会員（三沢一区）

《佳作》
おちついて　急ぐ心が　事故のもと
森山 嘉威 会員（大 保）

《佳作》
「ヒヤリ・ハット」あなどるな　重大事故への　メッセージ
石橋 眸 会員（御 原）

安全就業促進大会報告

安全・適正就業強化月間のメイン行事でもある平成２６年度の安全就業促進大会を７月８日(火) 小郡市生涯学習センター七夕ホールにて開催しました。

今年度の健康講話は嶋田病院の医師をお招きして、癌の中でも死亡率の高い“大腸がん”と“胃がん”について内視鏡による健診がいかに有効であるか説明していただきました。また、体験発表では、５年間石跳ね事故が発生していない刈払班にお願いし、立石会員が班組織や作業の方法、日頃の安全対策や注意事項などを詳細に話してくださいました。

今大会には会員２５８名の出席があり、約６６％の出席率となりました。台風８号の進路が心配される中、多くの会員さんが出席されたことで、今後の安全の取り組みに希望の光を見た思いがしました。今回、都合により出席できなかった方は、来年度必ず出席していただくようお願いします。

大会のお誘いをする中で、「剪定班や刈払班でないから、行かなくてもいいでしょ。あまり関係無い。」と何人かの方から言われました。確かに危険な要素が多い分、大きな事故は剪定や刈払で多く発生します。しかし、転倒や衝突などによるケガは、どんな職群においても相当数発生しているのが現状です。物を壊す賠償責任事故や交通事故は、職群を問いません。高齢者である私達は、常に安全について謙虚でありたいものです。

出欠の集約をしてくださった地域班長の皆さんに、改めてお礼申し上げます。毎回のことですが、班長から連絡があるまで回答がない方も多いと聞きます。各人が世話をする立場になって、ご協力をお願いします。

安全標語最優秀賞に選ばれた古賀正信会員の表彰
←

↓会場風景

無事故チャレンジ運動2014 実施中

平成26年7月 ～ 10月

安全就業委員長交代のお知らせ

《 退任のご挨拶 》　石橋　眸

安全就業委員長という大役を無事4年間務める事が出来ましたのも、事務局を始め、安全就業委員や安全就業協力員のご協力のお蔭と感謝しております。

顧みますと、安全パトロールでは、初めのうちは規則違反者に注意や指導をすると一部の会員より反発があり、心を鬼にして荒げた言葉を使ったこともあり、事故を未然に防ぐためとは言え申し訳なかったと思っております。

でも、近頃は、皆様もご理解され注意、指導も直ぐに受け入れていただけるようになりました。事故件数は少なくなりませんでしたが、重大な事故が無かったことが認められ、県連合会の安全就業促進大会で2年連続で安全優良センターとして表彰を受けました。これは、小郡大刀洗広域シルバー人材センターの全会員の安全就業意識の向上の賜であり、素晴らしいことだと思っております。

今後とも「安全は全てに優先する」をおひとりお一人肝に銘じ、事故0(ｾﾞﾛ)を目標に楽しいシルバー人生が送れるように願っています。

《 新任のご挨拶 》　井手　良介

この度、安全就業委員長に就任しました立石3区班の井手良介です。剪定班に所属し、数年前にも安全就業委員として活動しました。

私達会員の資格条件は、健康であること、就業できること、60歳以上であることです。高齢者である私達は、加齢による諸機能の低下を十分理解し、行動しなければなりません。ヒヤリ、ハット体験は事故発生の前兆です。安全は自分で作るもので、十項目の安全心得、職群毎の作業別安全就業基準や内規等を遵守することが自分を守り、依頼主、同僚、シルバー人材センターを守ります。

当センターは、安全優良センターとして、「安全第一」「安全は全てに優先する」をモットーに、毎日健康で笑顔で就業しましょう。また、交通安全や安全就業に関する研修、講習会には、必ず参加をしてください。

これからも、安全就業委員会の活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

石橋委員長には二期四年の間、安全就業体制の確立のため大変ご尽力いただきました。事故が非常に多発した時期に、小郡剪定班の班長として頭を痛め、作業基準の見直しなどの難しい問題に班をまとめて取り組んで下さいました。委員長として、新人研修等では「シルバーの決まりを守ってほしい」と常に安全就業の大切さを熱く語って下さいました。その熱意があってこそ、皆が協力してこの表彰にたどり着いたと感じています。
「本当言って、自分だっていつ事故を起こすかわからんし、あんまり色々うるさく言って憎まれたくないとよ。友達が無くなるんじゃないかと思って…」とポツリと言われましたね。 すみません、憎まれ役をさせてしまって…。心より感謝しております。お疲れ様でした。 （安全就業推進員　井上）